

| | | | | | | | | | |
|-----|-----|-------|---------------|------------|----|-----|------------|----|-------|
| 教科 | 外国語 | 科目 | 英語コミュニケーション I | 開講学期 | 通年 | 単位数 | 3 | 試験 | 前期・後期 |
| タイプ | I | レポート数 | 9 | スクーリング必要時数 | | 12 | スクーリング実施時数 | | 20 |

| | |
|-----------|--|
| 教科書(発行者) | All Aboard! English Communication I Revised(東京書籍) |
| 補助教材(発行者) | All Aboard! English Communication I Revised 学習書(NHK出版) |

| | | | |
|-------|--|---|---|
| 科目の目標 | 英語学習の特質を踏まえ、聞くこと、読むこと、話すこと[やり取り]、話すこと[発表]、書くことの五つの領域の指導を通して、以下に示す資質・能力を一体的に育成する。 | | |
| | 1 知識及び技能 | 2 思考、判断、表現等 | 3 学びに向かう力、人間性等 |
| | 外国語の音声や語彙、表現、文法、言語の働きなどの理解を深めるとともに、これらの知識を、聞くこと、読むこと、話すこと、書くことによる実際のコミュニケーションにおいて、目的や場面、状況などに応じて適切に活用できる技能を身に付けるようにする。 | コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、日常的な話題や社会的な話題について、外国語で情報や考えなどの概要や要点、詳細、話し手や書き手の意図などを的確に理解したり、これらを活用して適切に表現したり伝え合ったりすることができる力を養う。 | 外国語の背景にある文化に対する理解を深め、聞き手、読み手、話し手、書き手に配慮しながら、主体的、自立的に外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとする態度を養う。 |

| | | | |
|-------------|--|---|---|
| 評価の観点及びその趣旨 | 1 知識・技能 | 2 思考・判断・表現 | 3 主体的に学習に取り組む態度 |
| | ・外国語の音声や語彙、表現、文法、言語の働きなどについて理解を深めている。 ・外国語の音声や語彙、表現、文法、言語の働きなどの知識を、聞くこと、読むこと、話すこと、書くことによる実際のコミュニケーションにおいて、目的や場面、状況などに応じて適切に活用できる技能を身に付けている。 | コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、日常的な話題や社会的な話題について、外国語で情報や考えなどの概要や要点、詳細、話し手や書き手の意図などを的確に理解したり、これらを活用して適切に表現したり伝え合ったりしている。 | コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、日常的な話題や社会的な話題について、外国語で情報や考えなどの概要や要点、詳細、話し手や書き手の意図などを的確に理解したり、これらを活用して適切に表現したり伝え合ったりしている。 |

| | |
|-------|---|
| 単位認定 | 全レポートの合格、スクーリングの必要時数以上の出席及び定期試験合格(30点以上)で単位を認定する。 |
| 評価の方法 | 評価はレポート、スクーリング及び試験により総合的に行う。 |

| 学期 | レポート | 学習内容 | スクーリング | 試験 |
|----|------|--------------------------------------|----------|----|
| 前期 | 第1回 | Warm up1.2.3 Pre-lesson1 Pre-lesson2 | 第1・2回 | 前期 |
| | 第2回 | Lesson1 Lesson2 | 第3・4回 | |
| | 第3回 | Lesson3 Lesson4 | 第5・6・7回 | |
| | 第4回 | Lesson5 Reading1 | 第8・9・10回 | |
| 後期 | 第5回 | Lesson6 | 第11・12回 | 後期 |
| | 第6回 | Lesson7 | 第13・14回 | |
| | 第7回 | Lesson8 | 第15・16回 | |
| | 第8回 | Lesson9 | 第17・18回 | |
| | 第9回 | Lesson10 | 第19・20回 | |